

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第277号 平成8年1月



『雪煙 富士山』 近藤 肇

目 次

	頁		頁
1. 年頭ご挨拶	松原貞一 … 2	学術インフォメーション	学術部 … 13
2. 忘年クリスマス会	総務部 … 3	6. 平成7年度多摩地区医師会懇親会	
3. 理事会報告	広報部 … 7		高水松夫 … 17
4. 会員通知・医師会の動き	事務局 … 10	7. 地区だより	
5. 各部だより		福生地区 忘年会 ………………	18
西多摩学校保健連絡協議会報告		あきる野地区 忘年会 ………………	18
地域医療部 ……	12	8. お知らせ	事務局 …… 19
開業医向提携住宅融資制度のご案内		9. 表紙のことば	近藤 肇 … 20
総務部 ……	12	10. あとがき	玉木一弘 … 20

年頭ご挨拶

会長 松原貞一

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、地域保健法がらみの六カ月・九カ月児健診体制の変更にあたっては、会員の先生方のご理解とご協力を頂き、漸く本年4月より個別化新体制即ち医療機関委託による実施が可能となりました。昨年春、都衛生局より話を聞いた当初には、健診率だけをとりまいても、九カ月健診では個別方式で行なっている他地区の平均受診率が78%であるのに対して、集団方式で行なっている当地区の86%の方がはるかに優れており、医療機関過疎の地域にあっては、精度管理の向上からも官民一体の集団方式の方がベターと判断、出来ることなら集団方式をと都に対して例外措置を希望し、再三衛生局と折衝を行ないました。しかし、20数年来全都的にも個別健診体制が確立しており、永年医療機関委託として行なってきた経緯もあって、また受診者の利便性など利点もない訳ではなく、衛生局企画課、母子保健課などとの度重なる折衝の段階で、例外措置が不可能という衛生局の事情も理解、乳健医会の了解をいただいた上で、医師会健診体制の将来も含めて理事会でも個別化にふみきった次第です。各理事を通じ、また私が直接出向いて地区にご説明、10月期限ギリギリに個別体制の確立を行政に伝えることが出来ました。

4月の診療報酬改正は諸事経緯の末、3.4%の引き上げということに決まりました。3.5%前後の攻防であったのに医科3.6%は評価できると、都医会長は日医会長にお礼の電話をしたというも、薬価引き下げ分2.6%を差し引くと、実質上げ幅は0.8%にすぎず、前回の4.8%（実質2.7%）に遠く及ばない。

昨今の人件費の高騰、設備の改善、機器の購入などの諸経費を考えると、年1%の診療報酬アップでは医療経営は成り立たないと日医も試算していたはずであるのに、2年間で0.8%というのである。過去8年間の診療報酬改正にあたって、日医の要望額は24.08%アップということであったのに、中医協決定は18.51%であり、薬価引き下げ分を差し引くと8年間に僅か7.96%となって、年1%にも満たない。この間の人勧アップ率は年2.4%、GNPアップは3.6%であったという。そして今回の0.8%である。昨年度の医療費は26兆7,100億と推定され、総額では毎年5%の増加をみているというが、診療報酬は2年で僅かに0.8%のアップにすぎない。医療経営の悪化は誰の目にも明らかであり、世界に冠たる日本の医療体制も医療機関の犠牲の上に成り立っているといっても過言ではない。改定点数内でのやりくり、即ち体制内努力というものにも限度があることは、目にみえています。明日では遅すぎる。『闘う日医』を支えるためにも、まずは地区医師会が考え動かねばなりません。医療経営の安定なくしては、良い医療など望むべくもありません。若い会員の先生方の将来の為にも、サイレント医師会からの脱皮、闘う医師会造りが必要な時に来ているのではないのでしょうか。

今年は役員改選の年でもあります。福生病院の市町村移管問題、新生西多摩三師会の育成、保健所再編成に伴う諸体制の変更、定款施行細則改正など、当医師会として取り組まねばならない問題が多々あります。会員の先生方の一層のご理解とご協力をお願い致します。

西多摩医師会 95Xmas

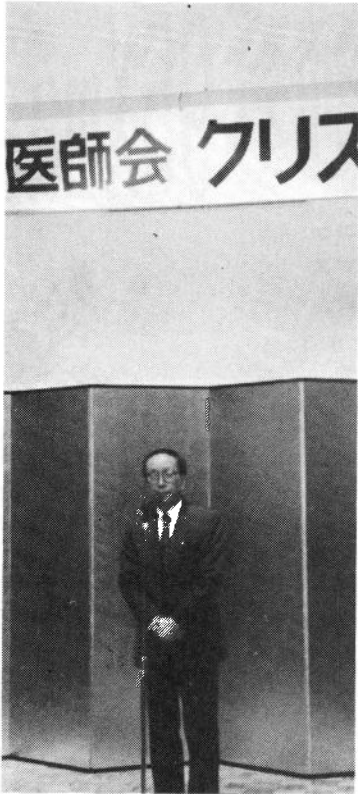
各地区会、会員の相互理解、病診連携促進のモニユメントとして恒例となった西多摩医師会忘年クリスマス会が、12月18日（月）ホテル福生国際会館にて、会員、家族、職員合わせて205名の出席を得て開催された。会場割れんばかりの熱気の中、宮川副会長の開会の辞、松原会長挨拶に続き内山監事の発声で乾杯が行われた。ピエロ、ジャグラーのパフォーマンスに48名の子供達の歓声がこだました。家族連れの手前会員の参加が目立ち、医師会活性化の在り方について示唆に富む大盛会となった。福引一等賞のテレビデオは福生地区の岡村会員が見事射止めた。

（総務部）



205名で開催

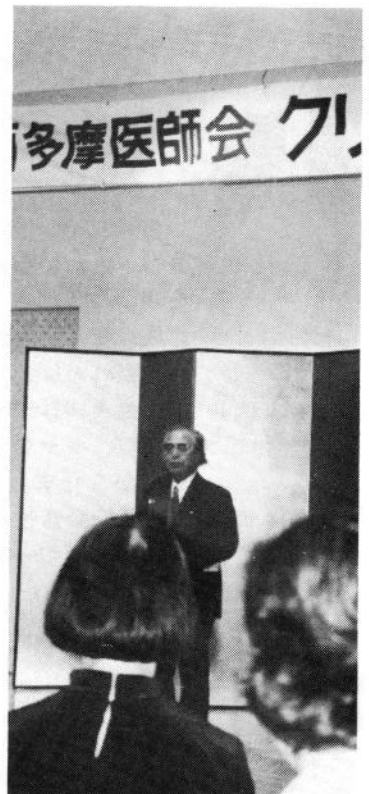




宮川副会長開会あいさつ

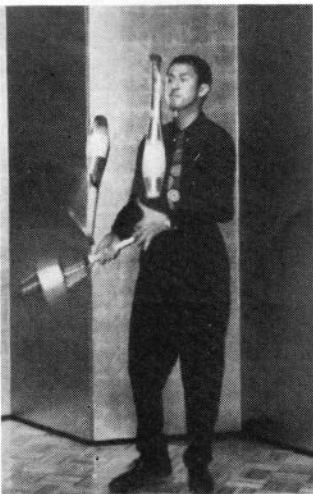


松原会長あいさつ



内山監事乾杯音頭



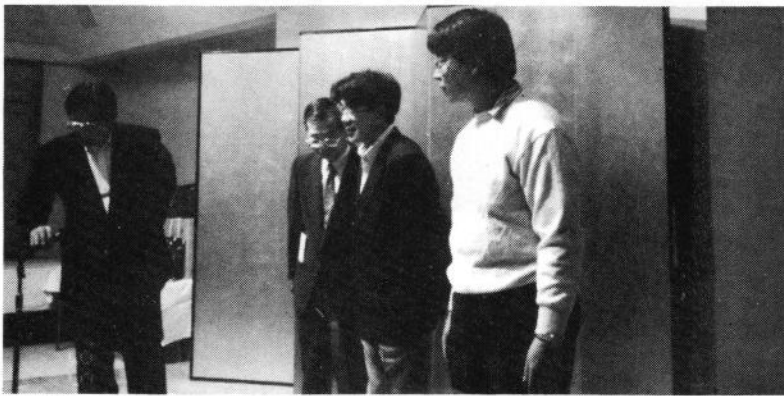




青梅総合病院の先生方



福生病院の先生方



阿伎留病院の先生方



新入会員 清水先生



西多摩医師会 クリスマス会

理事会報告

★ Information

12月定例理事会

平成7年12月7日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

(I) 学術部主催 '95シンポジウム『高齢者医療』報告 (小机理事)

11月25日(土) 羽村市コミュニティーセンターにて開催した。(12月号に詳報)

(II) 各部報告

(学術部) 11月28日に学術講演会、12月5日に三公立病院学術講演会を行った。

(別掲記事参照) (小机理事)

(広報部) 11月24日、2時より都医にて広報担当理事連絡会が開催された。東京メトロポリタンTVの都医広報番組への協力依頼があった。(玉木理事)

(地域医療部) 11月30日、西多摩学校保健連絡協議会が開催された。(樋口理事)

(別掲記事)

(III) 各地区会よりの報告 (各地区長)

(羽村) 12月8日に地区会を予定。

(青梅) 12月8日忘年会を予定。

(福生) 12月1日、地区理事連絡会にて、定款施行規則検討委の答申について話し合いを行い下記の意見があった。

○答申の通り、書面評決を基本とすべきだ。

○議案により、書面評決を選択してはどうか。

○会員の発案の提出を、総会資料送付前に行き、会員が議案提出出来るようにしてはどうか。

○公立病院のB会員会費割当て額と投票権数の整合性を慎重に検討すべきだ。

○役員は選挙により選出した方が、会の活性化につながるのでは無いか。等

(IV) 都医代議会報告 (宮川副会長)

11月24日、第220回代議員会が開催された。

日医代議員(補欠)に田中 隆 会員を選出、帝京大医師会の承認、定款施行規則一部改正を行った。

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について

— 承認 — (真鍋理事)

(8)

No. 277

(II) 新規会員年会費査定について

— 承認 —

(真鍋理事)

(III) 五日市保健所結核診査協議会委員の推薦について

(真鍋理事)

下記会員を推薦する。

川崎 健一郎 会員 (再任)

杉本

一 会員 (再任)

【3】 協議事項

(I) 定款施行規則の今後の取組について

(松原会長)

答申を尊重し、施行規則改定について、継続協議して行く。

(II) 柔道接骨師会休日診療などについて

(宮川副会長)

11月30日、西多摩地区整形外科医会員により協議した。

現時点では結論を出すには時期尚早にて、今後も検討課題とする。

(III) 新年の「賀詞交歓会」次第について

(松原会長)

会の主旨について会員の理解を得、一層の参加協力を案内する。

(IV) 老人ホーム入所時の検診などについて

(松原会長)

感染症の有無等検診項目の再検討、書式の統一等につき、日医、厚生省レベルでの検討を働きかけて行く。

(V) その他

★ ◎福生病院付属准看護学院の件

閉院が検討されているらしいが医師会として存続を要望して行く。

◎その他

旧会員で元会長 小泉 新策 先生が12月11日死去された。

12月定例理事会

平成7年12月19日

立川「多良福」

【1】 報告事項

(I) 都医地区医師会長協議会報告 (12月16日)

(松原会長)

1. 都医からの伝達

(1) 会員増強運動について

西多摩 (A173, B60)、都全体日医会員16,566名となり日医代議員数は31→33名と増加した。

- (2) 第7回H I V / A I D S症例懇話会の開催について
1月29日(月) PM 6:30より都庁都民ホールにて開催される。
H I V感染症例における精神神経病変について。
- (3) ビデオ「エイズ診療をすすめるために ~産科編~」配布について
各地区医師会に2本配布する。
- (4) 第19回日本プライマリ・ケア学会について
平8年6月15日(土)、16日(日)の両日開催の予定。
- (5) 乳幼児特殊救急事業について
平8年10月より実施される見通し。(会報11月号参照)
- ★ (6) 「すこやか東京」について
ヘルス通信社と契約し、サンヘルスを改め都医の一般都民向け対外広報誌として発刊する。地区医師会に広告依頼、年1回17万円をお願いしたい。
- (7) 平成6年度東京都産業医活動実績について
都医会員236名が活動中。業務内容は健康管理19.0%、健康教育26.4%、環境管理36.3%、その他18.3%。
- (8) 地域産業保健センターについて
- (9) 老人保健施設設立状況について
東京では現在、21施設(1,866床)となっている。全国では1,038施設が設立されている。
- (10) 訪問看護ステーション・在宅介護支援センターの設立状況について
現在ナースステーション81ヶ所、(医師会立18ヶ所)介護支援センター73ヶ所が稼働中。
- ★ (11) 区市町村社会福祉協議会について
全国で3,430、都で64の社協があるが、在宅ケア等地域医療の要となる為、各地区会でも積極的に参加してほしい。
- (12) 訪問看護事業使用車両の駐車許可手続きについて
今後許可されることになる見通し。
- ★ (13) 平成7年医事紛争概況について
都医にて内科20、整・外・産婦 各15、眼5の計83件であった。

(II) 各部報告

(総務部) 12月18日、忘年クリスマス会が、205名の出席で盛会に終わった。
(別掲記事) (玉木理事)

(III) 各地区会よりの報告

(各地区長)

(福生) 12月15日(金) 忘年会を行った。(別掲記事)

(羽村) 12月15日、施行細則検討委の答申について話し合った。

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について — 承認 — (真鍋理事)

(II) 都医一般都民向広報誌の協力広告について (真鍋理事)
「すこやか東京」への各地区医師会広告割当に協力する。

【3】 協議事項

(I) 新年の「賀詞交歓会」について (玉木理事)
招待者及び、会員に案内を発送した。参加者数増強を各地区に願う。

(II) 集団方式による乳児(6・9か月児)健診事業の終了について (大堀理事)
個別方式への移行により健診時雇上げ看護婦の雇用を終了するので、関係者にその旨通知する。

(III) 「訪問看護ステーション関係医師会連絡協議会」の設置及び連絡会について
石田理事を担当理事として選任し協議会に参加する。

会員通知

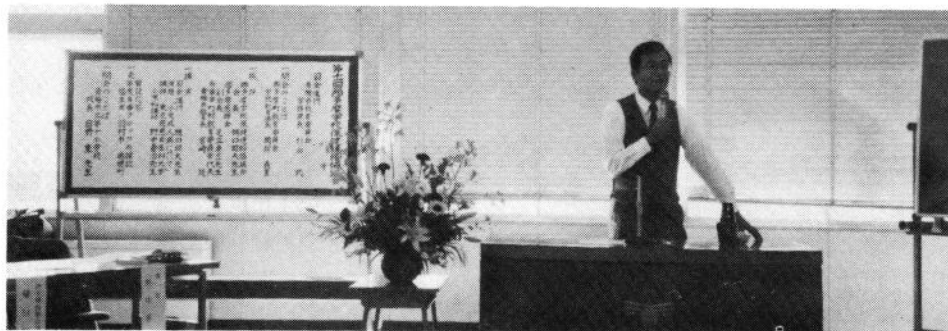
- 学術講演会 (12/5)
- 12、1月の保険請求書類の提出について
- 7年3期分会費の納入について
- 公費負担制度の解説の手引
- 杉並・中野・新宿区医師会「産業医研修会」開催について
- 多摩ブロック産業医研修会開催のお知らせ
- 平成7年度末期医療に関するケアの講習会について
- 年末年始休館のお知らせ
- 平成8年新年賀詞交歓会案内
- 平成7年度第4回基本健康診査従事者講習会の実施について
- C型肝炎講演会の開催について
- 葛飾区医師会産業医研修会案内

各部だより

地域医療部

西多摩学校保健連絡協議会報告

11月30日(木)、午後1時30分より3時30分まで、青梅市教育センターに於いて、第11回西多摩学校保健連絡協議会が開催されました。各地区の教育委員会関係、小中学校教職員、学校医など70名程の参加者がありました。今回は慈恵医大の小児科講師の野中善治先生による「小児成人病について」をテーマに講演を行ない、小児の肥満、成人病の怖さ、その予防について学校、家庭、校医の果たすべき役割についてユーモアを交えた分かり易い話をしていただきました。来年度は、福生・羽村・瑞穂地区が当番幹事となります。(樋口)



総務部

『開業医向提携住宅融資制度』のご案内

下記の融資制度が提携されましたので、お知らせ致します。

- ◎申込資格：東京都医師会会員、保険診療報酬の振込指定者、20歳以上65歳以下
- ◎資金用途：本人居住用住宅の購入、新・増・改築・補修資金
- ◎融資金額：1億円以内
- ◎融資期間：35年以内、原則として完済時年齢70歳以下
- ◎金利：住宅ローンの金利比0.3%優遇
- ◎その他：事務局迄

平成7年11月1日から富士・三菱・第一勧業・住友・大和各行にて取扱い致します。



学術部

Information



あけましておめでとうございます。

学術部委員の任期があと3か月となりましたが、残りの期間も委員一同頑張りますので、よろしく願い申し上げます。2月24日(土)には、第2回パネルディスカッション「糖尿病」を開催いたします。多数の会員及び関係諸氏の御参加を期待しております。

なお、1月は学術講演会を休ませていただきます。

<学術講演会聴講メモ(1)>

平成7年11月10日(金)

演題名：「薬剤性腸炎－抗生物質や抗炎症剤による大腸炎をめぐって」

講師：都国保連合会南多摩病院副院長 吉岡政洋先生

種々の薬剤により大腸炎は惹起されるが、なかでも抗菌剤・抗炎症剤により誘発される頻度が高い。発生機序に関しては偽膜性大腸炎における Clostridium difficile のように注目されている起炎菌もあり、他にも数種の菌が注目されているが、すべての腸炎で菌が検出、又は毒素が証明されているわけではない。薬剤投与により腸炎が誘発される機序は、菌交代現象による感染性腸炎としての視点のほかにも薬剤それ自身の作用機序、患者側の免疫能、腸管の末梢循環など多くの因子が関与している可能性が推測される。

(鈴木)

<学術講演会聴講メモ(2)>

平成7年11月28日(火)

演題名：「ACE阻害薬 (ACE-I) と心不全」

講師：武蔵野赤十字病院循環器内科部長 丹羽明博先生

心不全治療の概要と ACE-I の位置づけ：活動制限、食塩・水分管理、強心利尿薬、血管拡張薬、IABP 等特殊療法とあるが、ACE-I は急性期の治療薬ではなく、長期的に使用する心筋保護薬として考えたい、との事です。

ACE-I の作用：AT-II の産生抑制による降圧効果。内分泌系・脳・心・腎・血管壁の組織レニン・アンジオテンシン系が確認されており、ここに組織保護作用として働く。しかし、ブラジキニンの分解抑制作用により、空咳もみられることもある。

ACE-Iの心不全に対する大規模介入試験をみる。V-HeFT (USA) では、血管拡張薬群 (ヒドララジン+ISDN) に比しエナラプリル群は、長期予後を改善していることが証明された。また、CONSENSUS では、エナラプリル群は内因性カテコラミンを抑制して長期予後を改善していることがわかった。SOLVD では、エナラプリル群が心拡大や心事故をおさえて、プラセボ群に比して予後を改善していた。

ACE-Iの臨床効果：心機能分類やCTR、心エコー図所見 (FS, LVEF 等) は、有意差をもって改善している。また、種々の薬剤の中で、ACE-Iは最も強い肥大軽減効果を示している。左室肥大・左室重量増大は急性心筋梗塞・脳卒中の発生頻度を増加させるので、その予防という点からみて、ACE-Iの使用は好ましい。

想定されている ACE-Iの心保護作用：高血圧症では降圧作用と左室肥大の進展防止および退縮作用を示し、狭心症では発作閾値を上昇させ発作回数を減少させ、心筋梗塞においては左室拡張を予防し、うっ血性不全に対しても左室拡張を予防する。

市販されている ACE-Iの比較：1983年以来数多くの ACE-Iが市販されているが、心保護作用に関しては同等ではないか、と考えている。

ACE-Iの副作用：ACE-Iとしての特殊性として、空咳 (通常 5.6~17.7%)、腎機能障害、高カリウム血症、血管浮腫に注意が必要である。一般的副作用の頻度は、循環器系 0.2~1.3%、中枢神経系 0.8~5.4%、自律神経系 0.1~2.1%、消化器系 0.5~2.9%、皮膚症状 0.5~7.0%となっている。

(Q&A) 長期使用の場合、病的な状態に対して使っているわけであるから、正常化するまで使う。少なくとも、よくなる方向に進行しているうちは使用続けるべきである。

保護目的で使用の場合、1日1回投与、心不全のみの場合、1/2 Tを2日に1回使ったり case by case で考える。

(小机)

〈三公立病院学術講演会メモ〉

平成7年12月5日(火)

演題1. 「虚血性脳血管障害に合併した未破裂脳動脈瘤の問題点」

……公立阿伎留病院脳神経外科 宮崎 寛 先生

【目的】脳虚血性疾患に合併した未破裂脳動脈瘤に対する治療方針に関しては、種々の問題点が指摘されている。我々は、脳虚血発作の既往を有する未破裂脳動脈瘤に対する直達手術後、新たに神経脱落症状の出現を認めた症例に関し検討した。【対象及び方法】対象は、意識消失発作を含む脳虚血発作に対する精査中に未破裂脳動脈瘤が認められ、クリッピング術後、意識障害、失語、片マヒ等が出現した3例 (MCA 1例; IC-PC、両側 MCA 1例; IC-PC、MCA、A com 1例) である。平均年齢は57歳 (男2例、女1例)。術前の臨床症状は、一過性脳虚血発作2例、RIND 1例であった。直達手術は4動脈瘤に対し施行され、動脈瘤長径の平均は8.5mmであった。これらに対し、神経放射線学的所見、術中所見、術後神経症状等について検討した。【結果】手術は、虚血発作2カ月以降に行

われており、術中過度な低血圧麻酔は用いず、間欠的脳圧排、静脈温存に留意した。1例を除き動脈瘤壁は一部が菲薄化し内部の血流が透見可能であった。なお動脈瘤壁の石灰化は認められなかった。術後神経症状の悪化は、全て6時間以内に出現しており、1例は直後より麻酔半覚醒であり、意識障害が約1カ月遷延した。1例は、術後脳内血腫を合併し、術後の高血圧が原因と考えられた。1例は、術後6時間より失語症が出現したが、CT、血管撮影上明らかな血管閉塞等の所見はなく、3日以内に神経症状は改善した。3例全て1カ月以内に、神経症状は消失したが、2例はCT上脳室拡大を伴う脳萎縮を残した。

【結論】脳虚血発作の再発発作予防の観点からも、脳動脈瘤の積極的治療は重要と考えられるが、脳虚血発作の既往歴を有する未破裂脳動脈瘤例の直達手術に際しては、今後更に慎重な検討が必要と考えられる。今回報告するうちの2例は、術前明らかな臨床症状は認められなかったが、Xe CTでは1側半球上に脳血流量の軽度低下が認められており、術前評価と手術適応に関し、より慎重な検討が必要であると考えられた。

演題2. 「ペインクリニック外来の現状」

……福生病院麻酔科 勝 又 徳 一 先生

ペインクリニック外来の現状ということで、ペインクリニック外来で実際にどのようなことが行われているか、適応疾患、施行されている神経ブロックを中心に説明した。

初めにペインクリニックの定義として「ペインクリニックとは、主として神経ブロック法を応用して、主に疼痛の診断と治療を行う臨床診療部門である」。“主として神経ブロック法”としたのは必ずしもこの方法だけではなく、他に薬物療法、理学療法、電気刺激療法、東洋医学療法等が補助的に応用されるからである。又、“主に疼痛の診断と治療”としたのは必ずしも痛みだけでなく、顔面神経麻痺、顔面痙攣、突発性難聴など痛みを伴わない疾患も適応となるからである。福生病院ペインクリニック科でも変形性頸椎症、腰痛症など整形外科領域の疾患が6割、带状疱疹と带状疱疹後神経痛が2割、他に三叉神経痛、頭痛、顔面神経麻痺、顔面痙攣等が2割の外来受診割合であり、施行されたブロックは1/3が硬膜外ブロック、1/3が星状神経節ブロック、他にトリガーポイント、三叉神経ブロック等が1/3であった。補助療法としてレーザー、イオント・フォレーシース、低周波、はり等を行った。

次に神経ブロックの意義について、神経ブロックには、I. 痛みの悪循環を断ち切り、生体の homeostasis を賦活する治療的ブロック、II. 疾患や罹患部位を調べる診断的ブロック、III. 手術適応など予後を見るブロックの3つの意義があり、薬物療法と手術療法の間際に位置し、薬物、手術療法の欠点を補い、行き詰まりを打開する第三の治療法である。

その他、①局麻薬中毒、アナフィラキシーショックを中心として局所麻酔薬使用時に急性に起こる全身反応の種類と留意点について、②代表的神経ブロックである星状神経節ブロックの解剖、適応症、合併症について、③带状疱疹、带状疱疹後痛、带状疱疹後神経痛について、発症よりの期間による分類、それぞれの時期に施行される神経ブロック、予後について福生病院での症例を呈示しながら説明した。

演題3. 「リウマチ疾患の日常診療における問題点」

……青梅市立総合病院内科 桜井徹志先生

慢性関節リウマチ（以下リウマチ）の日常診療上の問題点の一つとして、薬剤、特に寛解導入薬、免疫抑制剤の副作用についてお話し申し上げた。

関節痛を来す疾患に骨関節症、骨粗鬆症などもあるが前者は関節軟骨が磨耗してしまう疾患であり、後者は骨そのものが弱体化する疾患である。これに対しリウマチは関節滑膜の増殖性疾患である。滑膜がなんらかの原因で炎症を来し、増殖し続け、軟骨、骨を破壊する疾患である。したがって、薬剤として、炎症を抑える抗炎症剤と、ある程度滑膜の増殖をも抑えようと考えられる寛解導入剤・免疫抑制剤とを使用することになる。前者の副作用は消化性潰瘍に代表される事は衆知の事実である。後者には重篤な副作用が多く中には催奇形性・催腫瘍性をもつものもある。若い女性患者に投与する場合は一般的副作用に注意するのは勿論のこと、このような副作用にも十分注意を払うべきである。



三公立病院学術講演会

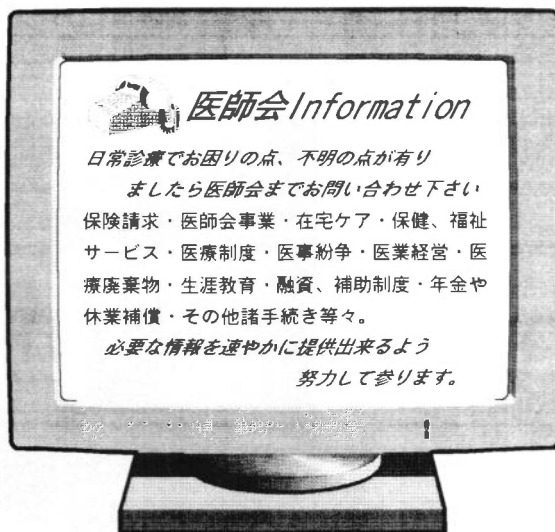


懇親会風景

平成7年度 多摩地区医師会懇親会

稲城市医師会の主宰による多摩地区医師会懇親会が、日本医師会長及び役員、東京都医師会長及び役員、東京都衛生局長、東京都福祉局長、国会議員、都会議員、稲城市長及び八王子市長を来賓に迎えて12月2日(土)京王プラザホテル「エミネンスホール」で開催されました。西多摩医師会からも多数の役員が出席しました。来年は八王子医師会が当番となり開催の予定です。

(高水)



地区だより

福生地区

福生地区忘年会

福生市休日診療所忘年研修会が12月15日(金)、午後7時30分よりホテル福生国際会館にて開催された。福生市休日診療所は本年度で20周年に当り、最近1年間の受診数は年末年始を除き約450件となっている。市助役をはじめ健康行政担当者、市議会議長、市議厚生委員長、健康センター職員の皆様の参加を得、地区会員を併せ約50名にて一年間の休日診療事業を振り返った。

(玉木)



福生地区 忘年会

あきる野地区

あきる野地区忘年会

12月21日(木)、五日市の黒茶屋において忘年会が行われました。あきる野市誕生後、初めて行われた今回、市の健康福祉課より27名を迎え、総数50余名のなごやかな会となりました。

(奥野)



お知らせ

事務局より お知らせ

2月（1月診療分）の

保険請求書類提出日

2月8日（木）

—— 正午迄です。 ——

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

- ◎ 相談日 **1月は10日（水）**
2月は14日（水）の予定です。
 - ◎ 場所 西多摩医師会館和室
 - ◎ 内容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎ 相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）
 - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

訃報

唐橋善伍様 89才

青梅市今井1-2547

青梅厚生病院

唐橋善雄先生（ご尊父）

去る12月2日逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。



表紙のこぼ

『雪煙 富士山』

毎年冬には富士山へカメラを持って行っているが、なかなか満足のいく写真は撮れない。それでも懲りないで、富士山となると元気が出て朝早くから出掛ける。この日は南アルプスがクッキリ見える程の雲一つない好天気で、富士の山頂付近には雪煙が舞い上がるのがよく見え、感動をもってカメラに捉えることができた。

— 平成7年1月富士吉田近郊より —

近藤 肇

第二木曜会（医考会）

日時：1月11日 午後7時30分より

場所：バーミヤン羽村店（個室）

（羽村市役所通り栄町2丁目交差点）

今回は食べながら、飲みながら新春放談的な楽しい集いを致したいと思います。気軽にお出かけ下さい。飲食代は各自お支払い頂きます。

みちまた



あとがき

新年明けましておめでとうございます。

暗い出来事の多かった昨年に区切りを付け、ストレスを留めずに新たな一年を前向きにプラス思考で積み重ねて行きたいと思います。そう言えば昨年暮れ、老人外来保険診療に従来の「出来高払い」の他、いわゆる「まるめ」を導入する旨の報道がありました。来るべきものが来たという感じで先行きの暗雲を見る思いがしますが、ここでプラス思考をすれば、過去にばかりこだわらず、いかに医療の質を落さずコストを削減するかを真剣に検討するよい機会であるし、あるいはこのコストでどのような質の医療が実現されるべきなのかについての国民的コンセンサスをより明確にすべき時とも考えられます。

老いと病いの境、死の定義と臓器移植、尊厳死と救命医療の調和、包括的在宅ケアの実現、これらは医療の問題と言うより主として国民のコンセンサスの問題でしょう。それは時代の流れであって、ひとり医療に限らずあらゆる業種が直面している新たな脱皮とも考えられます。医療だけがアンタッチャブルなはずはないとしたら、現状維持にばかりこだわってはい、取り残されるばかりでしょう。何か大きな力に流されて行く無力感や挫折感を味わうより、流れに乗って建設的な自己主張が出来る医師会活動がしたいと思います。

玉木一弘

社団法人 西多摩医師会

平成8年1月1日発行

会長 松原貞一 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 玉木一弘

石井好明 奥野 仁 片平潤一 小机敏昭

高水松夫 樋口昭夫 道又正達 山川淳二

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

うれしい
明日が
見えてくる。

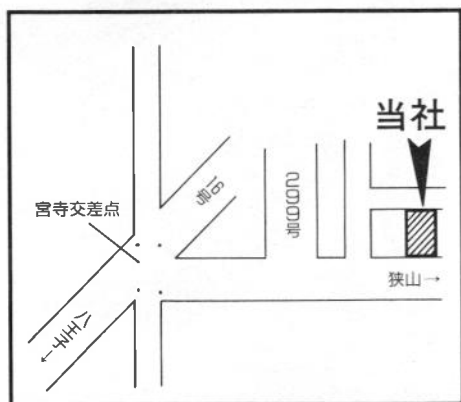
夢にあふれた素敵なお星の王子様トフィーラーと犬のルーラーが、たましん総合口座のキャラクターとして人気上昇中。総合口座通帳はじめ、キャッシュカード、2wayカード、定期積金100通帳などで大活躍です。トフィーラーと一緒に夢のあるくらしをはじめましょう。

TOFFEE[®]
© 1989 1991 SANPO CO., LTD.
A life in a sea of stars,
I could float forever.
Comets tickling my toes...

多摩のマイバンク
たましん
多摩中央信用金庫

健康と未来をみつめて!!

医療機関における各種検査、学校、事業所の検診
御利用の際は御連絡下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢 3 0 9 - 8

TEL 0429 (64) 2621

FAX 0429 (64) 6659

RETAIL BANK
あさひ銀行

あなたの街の
あさひです。



あさひ銀行

東青梅支店	TEL.0428-22-2121(代)	〒198	青梅市東青梅2-17-4
奥多摩 特別出張所	TEL.0428-83-2515(代)	〒198-02	西多摩郡奥多摩町永川1421
青梅支店	TEL.0428-22-1101(代)	〒198	青梅市青梅295
河辺支店	TEL.0428-24-2401(代)	〒198	青梅市河辺町10-2-9
福生支店	TEL.0425-51-1021(代)	〒197	福生市福生1048
村山支店	TEL.0425-61-1211(代)	〒208	武蔵村山市中藤4234
秋川支店	TEL.0425-58-2611(代)	〒197	あきる野市下代継111-5
羽村支店	TEL.0425-79-0881(代)	〒205	羽村市五ノ神4-13-10
五日市支店	TEL.0425-96-1311(代)	〒190-01	あきる野市五日市840-1

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア

保健科学研究所

本社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)
仙台支社 〒983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)